

館野 泉 (たての いずみ) / ピアノ



(2020.5.12 月瀬ホール)

クラシック界のレジェンド、87歳ピアニスト。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏藝術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音樂の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。“館野泉の左手”的に捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲にも及ぶ。2020年、演奏生活60周年を迎えて開催の記念リサイタルの全国ツアーは各地にて大反響をよんだ。

自由が丘で生まれ育ったレジェンドの月瀬ホールでのリサイタルは、2018年以来、今回で11回目となる。

館野 泉公式HP: <https://www.izumi-tateno.com/>

矢口 里菜子 (やぐち りなこ) / チェロ



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を経て、ドレスデン音楽大学にて研鑽を積む。馬場省一、宮城健、山崎伸子、石坂団十郎の各氏に師事。第10回ビバホールチェロコンクール第1位。第31回霧島国際音樂祭賞。在学中よりソリストとして各地でのリサイタル活動に加え、ザクセン州立警察オーケストラなどと共に演。小澤征爾音樂塾に参加。JT が育てるアンサンブルシリーズ、宮崎国際音樂祭などに出演。

2019年よりBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」にて、異なる樂団のトップ奏者から成る弦樂四重奏団「The 4 Players Tokyo」のメンバーとして定期的に出演している。同年、山形交響樂団首席チェロ奏者に就任。

《月瀬ホール 今後のコンサート予定》

2024年7月15日 (月・祝) 午後2時 松本望と若き仲間たち vol.4



いま注目の作曲家・ピアニストの松本望が、若い音樂家たちと、室内樂の愉しみをお届けするシリーズの第4弾です。

《プログラム》 フォーレ:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 op.13

メンデルスゾーン:チェロとピアノのためのソナタ 第2番 op.58

シューマン:ピアノ三重奏曲 第2番 op.80

《会費》3,500円/学生2,000円(懇親会付)

《出演》辻 愛結実(ヴァイオリン)、泉 優志(チェロ)、松本 望(ピアノ)



2024年10月13日 (日) 午後2時 黒岩悠ピアノ・リサイタル

ドイツ紙評で鍵盤の王と賞賛され、またバッハ演奏ではアルゲリッチからも高く評価される黒岩悠が、師事した異才ポゴレリッチ譲りの卓越したピアニズムで、バッハ、リストほかを弾きます。

《プログラム》 バッハ:パルティータ第2番BWV826、バッハ(ブゾーニ編曲):シャコンヌBWV.1004

パデレフスキ:6つの演奏会用ユーモレスクより サラバンド

リスト:ソナタ ロ短調 《会費》4,500円(懇親会付)

月瀬ホール (Tsukise Hall) について

自由が丘月瀬ビル5階の私邸リビング兼ピアノレッスン用プライベートホール。

会員制コンサートを隨時開催します。 広さ約50m²、天井高約5.1m (竣工2015年9月)

常設ピアノ: グロトリアン・コンサートロイヤル(2011年製)

クララ・シューマンが生涯愛したと伝えられるグロトリアンは、欧州の多くの宮廷から御用達に指定されてきたドイツ国内ハンドメイドの名機です。

ホームページ: <https://www.tsukisehall.com>

これまでのコンサートの録画をホームページ/youtubeに掲載中です。



「アートにエールを! 東京プロジェクト」より
(2020.5.12 月瀬ホールにて録画)